

件名	旧安田庭園の池の水量に関する陳情			
提出者住所氏名	墨田区横網●●●●●●●● ● ● ● ●			
受理年月日	令和7年9月3日	受理番号	第6号	
要 旨 1 現在公園課が設定している池の最低水位値を早急に30センチメートルに変更し、公園管理人（シルバー人材センター派遣）と共有すること。 2 近年の猛暑、酷暑を考え、夏場（7月から9月）の最低水位値を更に5センチメートル上げること。 （理 由） 旧安田庭園の池は朝に満潮、夕方に干潮となります。これは庭園地下にあるタンクの中の水を人工的に循環させて潮入りを再現しています。朝夕の水位を計測しているのは公園管理人（シルバー人材センター派遣）です。水位に関する緊急の電話連絡は最高水位70センチメートル以上、最低水位20センチメートル以下となっていて、緊急がなければ公園管理人は公園課に電話しません。公園課が水位の報告を受けるのは通常1か月後となっています。 現在、公園課が設定している池の最低水位値は「20センチメートル又は鯉の背びれが出ている」として、この状況になってから給水を行います。しかし、この最低水位20センチメートルは昔からの代々引継がれた数値であり現実的にあり得ない数値です。 7月30日に私が危険と感じて通報したときは26センチメートルで、既に鯉の背びれがしっかり出ていました。そこに加え、夏の熱波で水温は33度から35度になります。庭園の池には多くの生き物たちがいて野鳥もたくさん来ます。水位の低さと近年の猛暑、酷暑で生き物たちがとても危険で過酷な状態にさらされています。 今まで池の現状を見てこなかった公園課ですが、現時点で最低水位30センチメートルは必要と認めています。しかし公園管理人たちとはいまだ最低水位30センチメートルを共有しておらず、20センチメートルのままです。これではしっかりと水位を管理できません。早急に最低水位30センチメートルで給水という数値を公園管理人と共有し、池の水量を管理してください。 また、近年の夏場は高温で更に池水の自然蒸発が起こります。特に7月から9月は毎日1センチメートル前後蒸発します。先述したように水位26センチメートルで鯉の背びれは出て、水底の泥は舞い上がり、本来水の中にあるべき給水ポンプさえも出てしまいます。水位30センチメートルという数値は鯉の背びれが隠れる程度です。太陽の照射時間、水温の上昇、夏場の異常な猛暑、酷暑を考えると7月から9月は最低水位35センチメートル必要であり、この数値を最低水位値にしてください。				

人間を含め全ての生き物とともに、今後の更なる地球温暖化の対策として、また、伝統ある古き良き美しい旧安田庭園を保つためにも、この陳情をよろしく願います。

以上の趣旨をご理解の上、上記事項の実現をお願いいたします。

以 上